



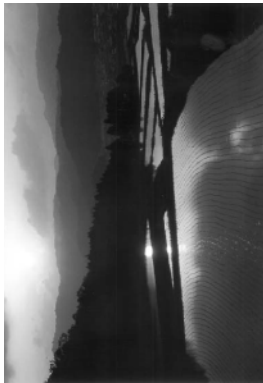
●与謝野町観光フォトコンテスト 与謝野町の魅力を 写真で表現

与謝野町観光協会主催の「平成20年度与謝野町観光フォトコンテスト」の審査がこのほど行われ、60人、103点の応募作品の中から、推薦3点、特選7点、入選5点が選ばれました。

推薦3点のうち、京都府知事賞には、三河内曳山祭で神楽と天狗が躍動する様子を写した足立孝さん（福知山市）の「熱演」が選ばれました。与謝野町長

賞には、夕日に浮かぶ水田風景「熱演」右下/与謝野町観光協会に選ばれた大塚三さんの「里の夕景」左上/与謝野町観光協会に選ばれた古村健太さんの「雲岩登頂」が選ばれました。与謝野町観光協会会長には、雲岩と見事に映き誇るツツジを写した古村健太さん（京丹後市）の「雲岩登頂」が選ばれました。

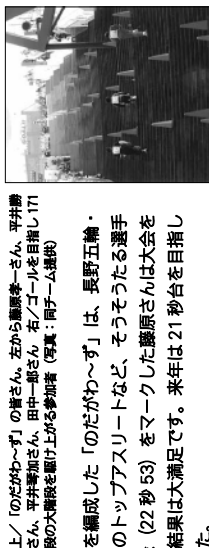
全応募作品は、与謝野町観光協会の事務所がある旧加悦駅舎2階で4月31日まで展示されています（入館無料）。



●JR京都駅ビル大階段駆け上り大会 チーム「のだがわ〜ず」が 強豪ひしめく中で大健闘！

2月21日にJR京都駅ビルで行われた「大階段駆け上り大会」において、与謝野町から参加した「のだがわ〜ず」が、団体の部で72チーム中9位に入る健闘を見せ、個人一般では同チームの藤原孝一さん（三河内）が3位に入賞しました。

大会は、同ビルの完成から毎年行われており、今年で12回目を数えます。72チーム288人が、4人一組で1人ずつ、高低差約30メートル、計171段を駆け上がり、4人の合計タイムで争う団体と、一般、女性、45歳以上の個人3部門の計4部門で競い合いました。由井一郎さん（宮津市）、平井孝加さん（四辻）、平井勝さん（同）、藤原孝一さんの4人でチームを編成した「のだがわ〜ず」は、長野五輪・競輪シヨートトラックの金メダリストや陸上競技のトップアスリートなど、そうそうたる選手が多数出場する中で大健闘。288人中3位の記録（22秒53）をマークした藤原さんは大会を振り回り、「年々レベルが上がる中で3位という結果は大満足です。来年は21秒台を目指してがんばります」と喜びの声を聞かせてくれました。



上/「のだがわ〜ず」の皆さん。左から藤原孝一さん、平井勝さん、平井孝加さん、由井一郎さん、石ノゴローを自前し171段の大階段を駆け上がる参加者（写真：町チーム提供）



●聴覚言語センター新加悦駅舎

聴覚に不自由のある方の支援拠点が新しくなりました。与謝野町聴覚言語センター・宮津と謝野町聴覚言語センター・宮津は、聴覚言語障害者へのさまざまな支援や生活相談などに取り組んでまいりましたが、施設の老朽化が進んでいたことから、今年度、与謝野町の「地域福祉空間整備事業交付金」を活用して整備されました。

式典では、利用者を代表して桑田志子さん（三河内）と前田弘美さん（加悦）が「楽しく、大切に使わせていただきます」とあいさつ。終了後は、利用者手作りの看板が掲げられたり、神楽舞が披露されたりと完成を祝いました。

●障害者防災学習会 災害発生時にできること、すべきことは

大災害発生時に、障害者の方や支援の方が取るべき行動について考えようと、「障害者防災学習会」（主催：与謝野町自立支援協議会）が3月24日、加悦地域公民館で行われました。

学習会は全4回計画されており、この日はその第1回目。村木孝之助立命館大学教授が「障害者と災害について」をテーマに講演。まずは与謝野町で想定される災害や耐震補強などについて説明した後、災害時における障害者支援の方法について「要援護者が自ら参加して、地域住民とともに、要援護者を支援する具体的方法を考えることが大切」と提言しました。講演終了後、参加者は講師に対し熱心に質問するなど、活発な学習会となりました。



村木孝之助立命館大学教授が「障害者と災害について」をテーマに講演。写真は講師と要援護者も参加。



ていねいに桜の木を植える児童

●石川児童卒業記念植樹 卒業の思い出に残る木を植樹

石川小学校6年生の児童20人が3月16日、卒業を記念して香河川の堤防に桜の木を植樹しました。

この催しは、香河川の護岸整備で河川公園の桜並木が計画されていることから、地元石川区が「卒業の記念で植えてはどうか」と小学校に持ちかけ実現したもの。伊達香河川石川区長から、作業の説明とともに、「10年もしたら満開になる。それを楽しみに」とメッセージが贈られました。その後、児童らは堤防沿いにソメイヨシノの苗木を一人一本ずつ、スコップや手で丁寧に植樹。

今後、桜の木にはそれぞれに植樹した児童の名前を書いたプレートが掛けられるとのもので、それを聞いた児童は「花が咲くのが楽しみ」と笑顔で話していました。



山田小では五人の女子児童全員が着物を着て参加した。

●小学校卒業式 着物姿で思い出に残る卒業式に

町立小学校9校の卒業式が3月23日に行われ、278人の子供たちが親しんだ学び舎を巣立ちました。

今年は、山田、岩屋両小学校の卒業生が、昨年の三河内小学校に続き、着物・袴姿で卒業式に出席しました。児童が着用した着物は、与謝野町婦人会の皆さんが「着物文化を子どもたちに体験してもらおう機会をつくろう」と、町染色センターで染め上げ、両校に貸し出したもので、両校の女子児童全員が着用しました。

頭にリボンや髪飾りを飾り、中振袖に袴、ブーツ姿の女子児童が入場すると、式場は華やいだ雰囲気になっていました。児童らは着慣れない着物に緊張した面持ちを見せながらも、思い出深い卒業式となりました。

子宮頸がんとは？ その症状はどんなもの？

子宮頸がんとは、子宮の入り口にある頸部にできるがんです。初期の子宮頸がんでは、全く症状がないのが普通です。がんが少し進行すると、はじめの症状として、月経でない時の出血（不正出血）、性交の際の出血、普段と違うおりものが増えたりします。ほかに、月経の量が増えたり、長引いたりすることもあります。

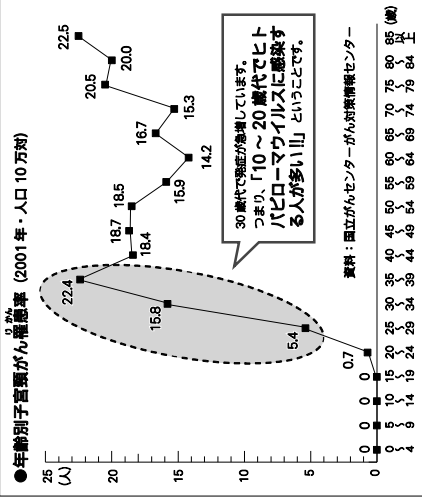
どんな人になりやすいの？

ヒトパピローマウイルス（HPV）への感染が子宮頸がんの発症と大きく関わっていることが分かっています。子宮頸がんのリスク要因として、▽低年齢での初交、性的パートナーが多い▽多産▽ほかの性行為感染症▽喫煙などが報告されていますが、喫煙を除いて、その多くはHPV感染のリスク要因でもあります。

ヒトパピローマウイルスとは？

HPVは決して珍しいウイルスではなく、ありふれたウイルスです。性器の皮膚や粘膜、口に潜んでいます。性交経験者のほとんどの女性が一度は感染していると言われています。ただ、感染しただけで病気になる必要はなく、現在のパートナーが信用できないとか「将来が心配」と考えるのは間違っています。HPVに感染しても、約9割の人は2年以内に自己免疫により消滅します。しかし、約1割の人は持続感染（約五十年の感染）し、さらにその一割程度の人が、がん細胞が発生する前の段階（細胞の異形成）の状態になると言われており、HPV

V感染から子宮頸がんになる人は千人に一人の割合と言われています。若い世代で急増
二十歳から三十九歳の女性を対象に、女性特有のがん（乳がん、子宮体がん、卵巣がん、子宮頸がん）の発生率を比較すると、子宮頸がんになる人が最も多くなります。また、一九七五年から二〇〇一年の約二十五年の間で子宮頸がんになる人は三倍近くに増えています。



町での検診を利用すれば、自己負担額はかかりません！
子宮頸がん検診は医療機関（婦人科）で受けられます。通常、病院内での検診は保険外診療のため全額自己負担となり、五千円程度かかります。しかし、町で実施する集団検診と指定医療機関での検診は、自己負担額なしで受けることが可能です。昨年町が実施した子宮頸がん検診の未受診者（七十四歳以上）に、検診案内とともに「子宮頸がん検診受診券」を四月上旬から五月中旬に個別送付します。昨年未受診の方はぜひこの機会に受診してみたいかがでしょうか。
【集団検診の場合】
◎八月から実施する集団検診で受診できます。（婦人科の検診がある日に限ります）
【指定医療機関利用の場合】
◎六月一日（月）～十月三十一日（金）までの期間に受診できます。
◎指定医療機関利用の際は、子宮頸がん検診受診券が必要です。ただし、期間外は利用できません。

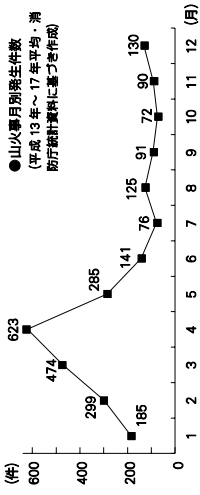
春先の火の取り扱いにはご注意を!!



春先は空気が乾燥し、風の強い日が多いため、火災になりやすい季節です。火の取り扱いには十分な注意をお願いします。強風時や乾燥時、火災の起こりやすい場所でのたき火は危険です。たき火をする時は、消火の準備をして、絶対にその場を離れないようにしましょう。その場を離れる時は火が確実に消えたことを必ず確認してから離れましょう。

春先は山も乾燥しています

山火事の約7割が冬から春先（12～4月）に集中発生しています。特に春先は、行楽や山菜採りのために山に入る人が増加し、かつ乾燥した環境下でのたき火やたき火の不始末が火災原因の多くにあがられます。一人ひとりが防火意識を高め、貴重な森林を山火事から守りましょう。



林野火災を防ぐ6つのポイント

- ① 枯れ草などのある場所では、たき火をしない。
- ② たき火の場所を離れるときは、完全に火を消す。
- ③ 強風時や乾燥時には、たき火、火入れをしない。
- ④ たき火等により火災と紛らわしい煙が発生する場合は消防署に届け出る。
- ⑤ たばこの吸いがらは必ず消し、投げ捨てはしない。
- ⑥ 子どもにも火遊びをさせない。



ごみの野外焼却は禁止されています

ごみ（廃棄物）の野外焼却や、基準に合わない焼却炉での焼却行為は、法律で「5年以下の懲役若しくは1,000万円以下の罰金に処し、又はこれを併科する」と定められ、警察の取り締まりの対象になっています。日常生活や農業等を営む上で必要最小限の枯葉や枯草等の焼却（たき火）等は例外的に認められていますが、事前に消防署、近隣の方への連絡を行い、焼却の際は十分注意してください。



火災と紛らわしい煙等を発するおそれのある行為等の届出については...

消防組合条例により、たき火等の火災と紛らわしい煙等が発生するおそれのある行為等を行う際には届出が必要です。
宮津消防署（本署） ☎ 46-6119
宮津消防署 加悦谷分署 ☎ 42-0119

ごみ（廃棄物）の野外焼却の禁止については...

法律により、ゴミの野外焼却行為は、一部例外を除き、禁止されており、違反者は厳しい罰則の対象になります。
役場 住民環境課 ☎ 44-2083

世界の国々の中で、4月に新しい学年を始めるのは日本とインドだけと思われまふ。ほとんどの国の入学式は8月または9月に行われています。満洲の森の木の下に日本の入学生の写るシーンが映画やアニメに出ると、いつも「きれいだ」と思いました。ロマンチックな雰囲気の中、そして、新しい命を象徴する春に新学期を迎えるのは、よく合っていると思います。

生徒たちの姿を見ると、私自身の中・高校時代のことを思い出します。「学校が嫌い」という友だちが少なくない中で、私は結構学校を楽しんでいました。制服を着て登校し、毎日友だちと会って、そして勉強することにも好きでした。試験がある時には、必ず精一杯勉強して、自分の努力の成果を楽しみにしていたものでした。



加悦分室の生徒たちと記念撮影

日本語を習い始めてからはずっと日本の学校生活について興味がありましたので、日本に来て、今と謝野町の違いとして学校訪問ができて本当によかったと思います。幼稚園でお菓子作りや歌を歌うことから、小学校の授業でゲームをすること、中学校でスピーチをすることまで、いろいろなところで違う学年の子どもたちと会いました。すべ

ての行事が楽しかったのですが、今までで一番楽しかった行事を選ぶとすれば、加悦分室でのスピーチを選びます。このスピーチは私にとって初めての学校スピーチでしたので、とても印象的でした。

私がまだ教室に入っていないで廊下にいた時にも、女子生徒たちが嬉々から微笑んだ顔を出して私の方を見ていました。好奇心満々だと思いつながら教室に入

って自己紹介をし、スピーチを始めました。話している間は、皆静かにじっとこちらを見ていて、まだまだ人の表情を読めない私は、「私の日本語が分からないのかな」「つまらないのかな」と心配していました。そのため終わって

した後、生徒が熱心に質問をしたり、一緒に話し合ってくれたり、写真を撮ったりしてくれたり、それから、ホッと安堵の胸をなでおろし、皆の温かさを感しました。その後生徒の激励の感想文をいただいたに感動いっぱいでした。

4月になって、出会ったそれぞれの生徒は学年が1つ大きくなったり、卒業してしまったりしていますが、まさに一期一会ですね。応援しています。がんばってください。

時の磨り物 [第36回 与謝野鉄幹・晶子 大内峠の歌碑]

まちの文化財

大内峠の歌碑は、大内峠公園内にあり、大内峠の歌を詠んだ鉄幹・晶子の歌が刻まれている。この歌碑は、昭和五年五月に丹後を訪れた鉄幹・晶子夫妻が、二人はここ大内峠で多くの歌を詠み、前日には岩瀬小学校で講演も行っている。この講演会を主催した岩瀬町婦人会が創立十周年を記念して設置したのがこの歌碑です。側面には昭和五年五月二十一日の建立と記されています。

たのしみは大内峠にきはまりぬ
まろき入江とひとすぢの松 寛
【歌意】
建立の良方、楽しみ方はさまざまであるが、極めつけはなんといつても大内峠からの眺望であろう。丸く弧を描く阿蘇海の入江の中にたたき松の緑に彩られた建立が真一文字に走る様は、簡素であるがゆえに、足す物も増く物も無い美しさがある。



海山の蒼きに中に緑の細く
峠の裾の岩瀬の町 晶子
【歌意】
空の蒼さに海も山も溶け込み、景色が青一色となる薄暮とき、裾野を見下ろせば岩瀬の町並みがあたかも繊細細工のようにきらきらと輝いて、海山の蒼と美しい対照をなしている。
二人がこの町の美しさに感動した様子が、今日の眺望と碑に刻まれた文字、そして歌から伝わってくるようです。
(与謝野町教育委員会)

図書館へ行こう！

BOOKS

4月23日は「子ども読書の日」
4月23日～5月12日は「子どもの読書週間」です

幼

い頃から本に親しみ、読書の楽しさを知ることが、子どもたちにとって一生の友だちを得ることと同じだと図書館は考えています。春は出会いの季節。どんな本(友だち)に出会えるかを楽しみに、ご家族で図書館へ出かけてみてください。

図書館行事の様子をご紹介します

◎絵本作家・長野ヒデ子さんおはなし会&講演会

神

奈良県橿原市から絵本作家の長野ヒデ子さんを招いて、2月28日、「おはなし会&講演会」を図書館で行いました。「おはなし会」には約100人、引き続き行った講演会には40人を超える人たちがお集まりいただきました。

長野さんの人柄は、自身が描くやさしい朗らかな絵本そのまま。読み聞かせや創作過程についての講演に、参加した皆さんはゆったりとした楽しき時間を過ごしていました。



子どもたちにやさしく絵本を読み聞かせる長野ヒデ子さん

◎野田川分室 ひなまつりおはなし会

3

月1日、「ひなまつりお話会」を中央公民館で行ったところ、約40人の親子連れにお集りいただきました。

マザー・グースの会による絵本の読み聞かせや、光るパネルシアターなど楽しいプログラムを企画。後半にはお手玉やカルタ、折り紙といった昔ながらの遊びを親子で楽しみました。



光るパネルシアター

新着図書を紹介

【一般書】 ●『みんな、絵本から』 柳田邦男／講談社 ●『お子様おけいここと事情』 杉山由美子／岩崎書店 ●『京都口マンチツッ案内』 甲斐みのり／マーズ・トリート ●『人にしはれず自分を縛らない生き方』 曾野綾子／扶桑社 ●『作家のおやつ』 コロナブックス編集部／平凡社 ●『プリンセス・リポート』 万城目学／文藝春秋 ●『＜旭山動物園＞革命』 小菅正夫／角川書店 ●『ベンジャミン・バトン』 スコット・フィッツジェラルド／イースト・プレス
【児童書】 ●『ドンマイ！』 後藤竜二／新日本出版社 ●『おつきさまのやぐく』 いとうひろし／講談社 ●『子どものためのお洒入門』 (よりみちパブリック) 山岡孝子／理論社 ●『リザミジのおやこ』 皆越ようせい／ポプラ社 ●『竹とぼくとおじいちゃん』 星川ひろ子／ポプラ社 ●『おそとがきえた！』 角野米子 (文) 市川里美 (絵)／偕成社 ●『エルマーのぼうけん1〜3 (復讐版)』 ルース・スタイルス・ガネット (作) ルース・クリスミス・ガネット (絵)／福音館書店 ●『くまのこミンのおはなしはたけ』 あいばらひろゆき (文) あだちなみ (絵)／講談社

図書館おはなし会

<本館>
5月9日 (土)
午前10時30分～、午後3時～
<加悦分室>
5月9日 (土) 午後3時～
<野田川分室>
5月16日 (土) 午後3時～

●問い合わせ先/与謝野町立図書館 ☎ 46-2451 加悦分室 ☎ 43-0376 野田川分室 ☎ 43-0087

●開館時間/午前10時～午後6時 ●休館日/毎週月曜 (本館・加悦分室) 毎週火曜 (野田川分室) 毎月最終木曜 (共通)

役場開庁時間を
変更しました

4月から、役場各庁舎
の開庁時間が「午前8
時 30分から午後5時
15分まで」となりま
した。ご迷惑をおかけ
しますが、ご理解とご
協力をお願いします。

阿蘇海をきれいに！
啓発パネルを設置しました



与謝野町役場	
岩津地域振興課	☎ 46-3001 (代)
総務課	☎ 46-3002
企画財政課	☎ 46-3003
企画財政課	☎ 46-3004 (消防安全)
企画財政課	☎ 46-3004
建設課	☎ 46-3005 (建設/行政)
建設課	☎ 46-3267
商工観光課	☎ 46-3269
会計課	☎ 46-3007
野田川庁舎	
野田川地域振興課	☎ 44-2081 (代)
野田川地域振興課	☎ 44-2082
住民環境課	☎ 44-2083
税務課	☎ 44-2084
水道課	☎ 44-2085
下水道課	☎ 44-2086
加悦庁舎	
加悦地域振興課	☎ 43-1511 (代)
福祉課	☎ 43-1512
保健課	☎ 43-1513
農林課	☎ 43-1514
議会事務局	☎ 43-2191
議会事務局	☎ 43-0215
教育委員会 教育総務課	☎ 43-2192
教育委員会 教育推進課	☎ 43-2193

町内に配布している
広報誌には掲載しています

日頃の備えと地域での助け合いの大切さを再確認
与謝野町防災訓練



☎ 総務課 ☎ 46-3003

岩津地区では、日々車の車イスが降りて
車に乗って災害時を乗り越える訓練を実施
大規模地震に対する防災
意識を高めようと、「与謝
野町防災訓練」を三月一日
全町域で実施しました。
訓練には、町民の皆さん
をはじめ、与謝野町消防団、
宮津市消防団、宮津警察
署、与謝野町アマチュア無
線協議会などの関係機関が
参加。
昨年は洪水・土砂災害を
想定して実施しましたが、
今年は丹後半島沖を震源と
するマグニチュード7.3、
震度6弱の地震が与謝野町
を襲い、巨峰以上の家屋が
倒壊し各地で火災が発生。
また津波により沿岸部の家
屋に浸水被害が発生したと
の想定で、午前九時の地震
発生、消火栓点検、放水訓
練、炊き出し訓練などが行
われたほか、災害時に支援
が必要な方に着目した訓練
も実施されました。
岩屋地区では、ボラン
ティアグループ「サポート
い輪や」が中心となってい
る区や福祉施設（町々丘・夢
織りの郷）と協力し合い、
災害時に要援護者となる高
齢者や負傷者を集約する場
所に搬送する避難訓練と、
施設の調理場を活用した非
常食の炊き出し訓練が行わ
れた。また幾地区では、区
の自主防災協力隊が災害時
に要援護者登録者を訪問し
ました。

2月入札結果									
☎ 総務課 ☎ 46-3003									
入札日	工事番号	工事名	施行所	開標数	資料提出 （件数/金額）	予定価格 （件数/金額）	最終開標 （件数/金額）	落札率 （%）	工事期間
2/9	20 与謝野新工第 5 号	岩屋町と子だのセンター 屋上防水改修工事	岩屋	6 番	仙おがみ工務店	1,950	1,640	84.1	H21/2/13 ~ 3/27
2/9	20 与謝野新工第 23 号	岩屋川緑道改良（その5） 工事	岩屋	9 番	安田建設	14,815	11,895	80.2	H21/2/20 ~ 3/31
2/9	20 与謝野新工第 14 号	町家正徳寺田地 13・14・ 19・20 号解体工事	幾野	3 番	安東組	2,350	1,987	80.6	H21/2/14 ~ 3/19
2/9	20 与謝野新工第 11 号	災害に強い集づくり事業 山工	四辻	3 番	江笠建設	2,381	2,002	88.1	H21/2/20 ~ 3/31
2/9	20 与謝野新工第 1 号	幾江地区緑道改良（その1） 工事	幾江	3 番	安東組	2,140	1,741	90.6	H21/2/14 ~ 3/25
2/9	20 与謝野新工第 2 号	幾江地区緑道改良（その2） 工事	幾江	3 番	金下建設	1,310	1,057	93.8	H21/2/17 ~ 3/25
2/9	20 与謝野新工第 6 号	加悦上水道改修設計（その 2）業務委託	箕所	7 番	仙おがみ工務店 リンク建設	9,108	—	87.8	H21/2/13 ~ 3/25
2/28	20 与謝野新工第 32 号	岩屋地区面談設備の工事	岩屋	12 番	江笠建設	6,101	—	81.6	H21/3/10 ~ 3/25
2/28	20 与謝野新工第 22 号	町家石香河緑道改良工事	明石 香河	4 番	浅野建設	25,918	20,757	80.0	H21/3/8 ~ 3/31

19 広報よさの APRIL 2009

※この欄で紹介する出生とお悔やみは、2月16日から3月15日までの届け出分です。役場窓口で届出の際に希望された方のみを掲載しています。
※岩屋地域の地区振興は、これまで行政区分でしたが、今月号から住所に変更しています。野田川・加悦地区は、従来のとおり住所掲載です。

18